

平成27年度決算を公表

記号の見方

時日時

場会場

内容

対象

定員

費参加費

申し込み

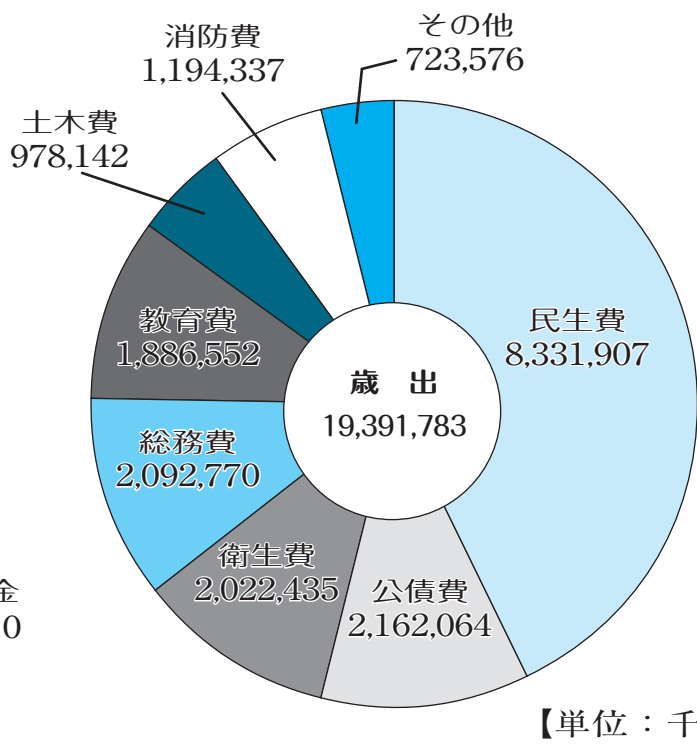
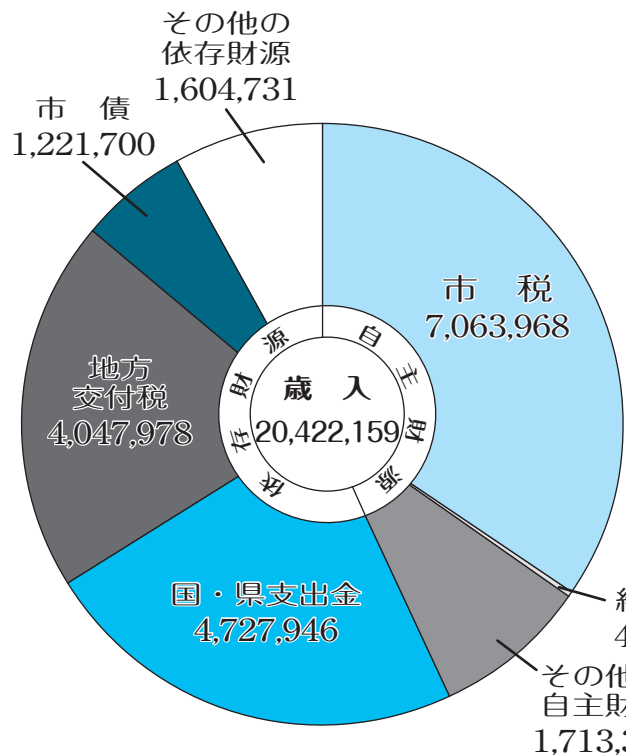
締め切り

持ち物

問い合わせ

FAX

44-0815



【単位：千円】

本市の財政状況を知っていただくため、平成28年12月市議会定例会で認定された平成27年度決算のうち、市政運営の基本的な経費を計上する一般会計の状況をお知らせします。

財政課
☎ 443-1117

特別会計の歳出決算額など

国民健康保険	115億712万1千円
うち保険給付費	65億6,177万1千円
後期高齢者医療	4億3,549万4千円
うち広域連合納付金	4億2,865万2千円
介護保険	40億3,563万8千円
うち保険給付費	38億2,368万1千円
下水道事業	13億9,608万5千円
水洗化人口	19,715人
水道事業	14億4,072万7千円
給水戸数	14,540戸
給水人口	37,833人

主な基金の残高状況

一般会計財政調整基金	16億630万1千円
塵芥処理施設建設改良基金	659万1千円
し尿処理基金	8万9千円
用排水路建設改良基金	5,819万6千円
減債基金	1億2,213万9千円
青少年育成基金	995万円
地域振興基金	198万5千円
地域福祉基金	2,301万円
落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり基金	723万2千円
文化会館建設基金	140万3千円
野球場建設基金	215万6千円
東日本大震災復興基金	317万6千円

【歳入】
歳入では、自主財源の中心である市税のうち、個人市民税や軽自動車税は増えているものの、法人市民税の税率改定や家屋の評価額の下落などにより、市税総額は、前年度と比較して8027万3千円（1・1%）の減となりました。

【歳出】
歳出に占める割合が最も高いものは民生費で、障害

○一般会計
平成27年度の歳入総額は、204億2215万9千円、歳出総額は193億9178万3千円で、歳入歳出の差引総額は10億3037万6千円となりました。

この中には平成28年度に繰り越した事業費などに充てる財源5769万8千円が含まれています。これを差し引いた実質収支は9億7267万8千円となりました。

また、依存財源のうち地方交付税及び地方消費税交付金が増加したものの、朝陽小学校の改築事業がおおむね終了したことなどにより、国庫補助金などが減少し、国庫支出金は、前年度と比較して8億4470万8千円（15・2%）の減となり、歳入全体に占める自主財源の割合は43・2%、依存財源は56・8%となりました。

このように、地方消費税交付金や地方交付税は増加した一方、市税や、投資的経費が減ったことに伴い、国の補助金や建設地方債が減少し、歳入総額は前年度より18億7867万7千円（8・4%）の減となりました。

なお、市債（市の借金）の返済である公債費は、クリンセンターを建設した際の市債の返済が終了した

○基金残高の状況
基金には、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるものと、特定の目的のために定額の資金を運用するために設けられるものがあります。

一般会計に属する主な基金の平成27年度末の残高状況は左表のとおりです。

者自立支援給付事業費や生活保護費などの増加や平成27年4月に開設した認定こども園に対する補助金などにより、前年度と比較して4億975万9千円（5・2%）の増となりました。

また、土木費は、市道の改良事業費、榎戸駅整備事業費や大池排水区整備事業一般会計負担金などを支出しましたが、大規模な工事が終了したことなどもあり、前年度と比較して5億6300万2千円（36・5%）の減、教育費は朝陽小学校の改築事業がおおむね終了したことなどにより、前年度と比較して14億8134万7千円（44・0%）の減となりました。

○特別会計
特別会計とは、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を行うための会計と、水道や下水道事業など法律により独立採算を原則とする会計をいいます。

特別会計における決算の状況は左表のとおりです。

ことなどにより、前年度に比べ2億877万円（8・8%）の減となり、歳出総額は、前年度と比較して18億1600万9千円（8・6%）の減となりました。